

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月24日

上場取引所 東

上場会社名 山加電業株式会社

コード番号 1789 URL <http://www.yamaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 中澤 文雄

TEL 03(5957)7661

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日

平成26年6月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,847	54.1	178	—	204	—	169	—
25年9月期第2四半期	1,847	18.4	△26	—	△1	—	△8	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 169百万円 (—%) 25年9月期第2四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	26.56	—
25年9月期第2四半期	△1.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	3,468	2,143	61.8	336.60
25年9月期	3,050	1,987	65.1	312.04

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 2,143百万円 25年9月期 1,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年9月期	—	2.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,011	20.0	175	37.7	173	5.6	183	29.7	28.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期2Q	6,375,284 株	25年9月期	6,375,284 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期2Q	6,201 株	25年9月期	6,201 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	6,369,083 株	25年9月期2Q	6,369,083 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済政策及び金融政策の効果を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど緩やかな回復基調がみられたものの、中国をはじめとする新興国経済の減速及び円安進行による原材料価格の上昇、消費税増税後の個人消費への影響など国内外の懸念材料もあり、依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共事業が安定して推移する中、民間設備投資も改善を見せてはいるものの、熾烈な受注競争に加え、労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような状況の中、当社グループは引き続きコスト削減とリスク管理に取り組み、利益額の増加を目標に、採算性の強化、原価管理の徹底、諸経費削減などの施策を実施してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、8億6千3百万円（前年同四半期比41.4%減）、売上高は28億4千7百万円（前年同四半期比54.1%増）となりました。また利益につきましては、電気工事業では、内線事業、モバイル事業は、材料費・人件費の高騰により伸び悩みましたが、電力事業は順調に推移し、建物管理・清掃業では、材料費・人件費の高騰による影響が見られたものの、当初予想の利益は確保することができたことにより、営業利益は1億7千8百万円（前年同四半期は2千6百万円の営業損失）、経常利益は2億4百万円（前年同四半期は1百万円の経常損失）、四半期純利益は1億6千9百万円（前年同四半期は8百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電気工事業)

電気工事業については、受注の伸び悩みがありましたものの、前期からの繰越工事の完工が集中したことにより、当第2四半期連結累計期間の受注高は8億6千3百万円（前年同四半期比41.4%減）、売上高は23億8千万円（前年同四半期比70.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1億5千5百万円（前年同四半期は6千5百万円のセグメント損失）となりました。

(建物管理・清掃業)

建物管理・清掃業については、売上を順調に伸ばしましたが、材料費・人件費の上昇の影響が見られ、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億6千7百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2千1百万円（前年同四半期比42.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億1千7百万円増加し、34億6千8百万円となりました。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億6千1百万円増加し、13億2千4百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億5千6百万円増加し、21億4千3百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、未成工事支出金1億7千8百万円の減少もありましたが、現金預金2億1千4百万円の増加及び受取手形・完成工事未収入金等4億2千3百万円の増加によるものであります。

負債の増加の主な要因は、未成工事受入金1億1千6百万円の減少もありましたが、短期借入金2億円及び工事未払金1億4千7百万円の増加によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億5千6百万円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億1千4百万円増加し、9億1千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と増加・減少の要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、5千8百万円（前年同四半期は1千4百万円の減少）となりました。この主な要因は、売上債権の増加4億2千4百万円もありましたが、税金等調整前四半期純利益2億4百万円、未成工事支出金の減少1億7千8百万円及び仕入債務の増加1億4千7百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、2千9百万円（前年同四半期は2億4千4百万円の増加）となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入1億5千万円もありましたが、のれんの取得による支出3千5百万円及び定期預金の預入による支出1億5千万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、1億8千5百万円（前年同四半期は3千5百万円の増加）となりました。この主な要因は、短期借入金の返済による支出1億円もありましたが、短期借入れによる収入3億円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえました結果、「平成25年9月期決算短信」（平成25年11月12日付）で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	852,756	1,067,420
受取手形・完成工事未収入金等	771,886	1,195,134
未成工事支出金	242,118	63,353
繰延税金資産	25,800	25,800
その他	101,061	62,128
貸倒引当金	△974	△131
流動資産合計	1,992,649	2,413,705
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	439,648	439,830
機械・運搬具	347,198	347,198
工具器具・備品	257,419	258,810
土地	359,351	359,351
減価償却累計額及び減損損失累計額	△736,177	△773,461
有形固定資産合計	667,440	631,729
無形固定資産		
のれん	244,421	264,318
その他	6,374	5,589
無形固定資産合計	250,796	269,908
投資その他の資産		
投資有価証券	105,651	127,074
長期貸付金	344,000	338,000
繰延税金資産	400	400
その他	34,672	32,863
貸倒引当金	△344,815	△344,946
投資その他の資産合計	139,908	153,391
固定資産合計	1,058,144	1,055,028
資産合計	3,050,793	3,468,734

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	467,344	614,948
短期借入金	100,000	300,000
未払法人税等	23,431	39,703
未成工事受入金	144,200	28,058
賞与引当金	20,715	29,030
工事損失引当金	12,257	1,213
完成工事補償引当金	240	420
その他	123,347	165,482
流動負債合計	891,536	1,178,856
固定負債		
退職給付引当金	154,715	130,966
再評価に係る繰延税金負債	8,327	8,327
その他	8,779	6,753
固定負債合計	171,822	146,047
負債合計	1,063,358	1,324,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	821,016	821,016
利益剰余金	353,665	510,059
自己株式	△1,900	△1,900
株主資本合計	2,162,450	2,318,844
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△175,015	△175,015
その他の包括利益累計額合計	△175,015	△175,015
純資産合計	1,987,435	2,143,829
負債純資産合計	3,050,793	3,468,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高		
完成工事高	1,400,292	2,380,378
不動産管理売上高	447,386	466,756
売上高合計	1,847,679	2,847,135
売上原価		
完成工事原価	1,234,815	1,969,451
不動産管理売上原価	300,973	328,467
売上原価合計	1,535,789	2,297,919
売上総利益		
完成工事総利益	165,476	410,927
不動産管理売上総利益	146,413	138,289
売上総利益合計	311,890	549,216
販売費及び一般管理費	338,572	370,295
営業利益又は営業損失(△)	△26,682	178,921
営業外収益		
受取利息	1,395	72
貸倒引当金戻入額	—	3,000
保険解約返戻金	3,525	—
還付加算金	—	1,752
持分法による投資利益	23,326	21,422
その他	700	704
営業外収益合計	28,948	26,953
営業外費用		
支払利息	2,138	867
その他	1,244	381
営業外費用合計	3,383	1,249
経常利益又は経常損失(△)	△1,117	204,625
特別損失		
固定資産除却損	1,326	—
電話加入権評価損	—	46
特別損失合計	1,326	46
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,444	204,578
法人税、住民税及び事業税	11,974	35,445
法人税等調整額	△6,207	—
法人税等合計	5,766	35,445
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,211	169,132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,211	169,132

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年3月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	△8,211	169,132
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△8,211	169,132
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,211	169,132
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△2,444	204,578
減価償却費	22,259	37,839
のれん償却額	14,520	15,103
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,561	△712
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,371	8,315
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△30,562	△23,748
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△14,333	△11,043
その他の引当金の増減額（△は減少）	△240	180
受取利息及び受取配当金	△1,395	△72
支払利息	2,138	867
持分法による投資損益（△は益）	△23,326	△21,422
電話加入権評価損	—	46
売上債権の増減額（△は増加）	△194,849	△424,045
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△13,793	178,764
仕入債務の増減額（△は減少）	180,413	147,604
未払消費税等の増減額（△は減少）	△32,414	118,736
未成工事受入金の増減額（△は減少）	80,355	△116,142
その他	581	△36,012
小計	△8,158	78,836
利息及び配当金の受取額	1,907	85
利息の支払額	△2,214	△1,631
法人税等の支払額	△11,968	△19,302
法人税等の還付額	5,570	595
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,863	58,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△45,749	△1,390
定期預金の預入による支出	△150,000	△150,024
定期預金の払戻による収入	—	150,000
のれんの取得による支出	—	△35,000
貸付金の回収による収入	—	6,099
保険積立金の解約による収入	336,865	—
その他	3,776	957
投資活動によるキャッシュ・フロー	244,893	△29,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△100,000
配当金の支払額	△12,742	△12,561
リース債務の返済による支出	△2,026	△2,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,231	185,412
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	265,261	214,638
現金及び現金同等物の期首残高	556,337	702,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	821,599	917,390

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,400,292	447,386	1,847,679	—	1,847,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	234	234	△234	—
計	1,400,292	447,620	1,847,913	△234	1,847,679
セグメント利益又は損失(△)	△65,990	37,603	△28,386	1,704	△26,682

(注) 1 売上高の調整額△234千円及びセグメント利益又は損失の調整額1,704千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,380,378	466,756	2,847,135	—	2,847,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	400	460	△460	—
計	2,380,438	467,156	2,847,595	△460	2,847,135
セグメント利益	155,566	21,650	177,216	1,704	178,921

(注) 1 売上高の調整額△460千円及びセグメント利益の調整額1,704千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建物管理・清掃業」セグメントにおいて、管理業務受託事業を譲り受けております。これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、35,000千円であります。